



但馬やまびこの郷
ホームページ▶



兵庫県立但馬やまびこの郷

<https://www.t-yamabiko.asago.hyogo.jp/>

「学校に行きづらい」「教室に入りにくい」児童生徒の
保護者のみなさんにお便りします

やまびこ

教育支援センターってどんなところ？

教育支援センターとは、学校に通うことに不安や難しさを感じているお子さんが安心して過ごせる場所として、各市町の教育委員会などが運営している施設です。今回は、教育支援センターを利用したことのあるお子さんや保護者の方の声を紹介します。



利用経験者の声

Q 教育支援センターのスタッフは、どんなふうにかかわってくれましたか？

A カードゲームやスポーツなどを一緒に楽しんでくれて、話しやすい雰囲気を
つくってくれました。勉強も、分からないところを丁寧に教えてくれました。

Q 教育支援センターはあなたにとってどんな場所でしたか？

A 教育支援センターでできた友人と、帰りに遊ぶことが楽しみになりました。
家の近くで友人と会える場所があることが、すごくうれしいです。日常の中に
ある楽しみの場であり、安心して過ごせる場所でした。

Q 教育支援センターを利用したことで、お子さんにどんな変化がありましたか？

A 笑顔が増え、明るい表情で過ごせるようになりました。
一緒に活動できる友人ができたことで、日々の楽しさが生まれました。
教育支援センターを「楽しい場所」と感じられるようになってからは、前向きに過ごす時
間が増えました。



保護者の声

Q 教育支援センターのスタッフは、お子さんにどのようなかわり方をしていましたか？

A 子どもと保護者が一緒に参加できる交流会などを通して、スタッフの方が楽しくかか
わってくださいました。子どもにとって無理のないペースで、自然な雰囲気の中で過ご
せたことが、安心感につながったと思います。子どもが通いにくくなったときには、「無
理に通わなくても大丈夫ですよ」と言っていただいたことで、私も子どもも気持ちが少
し楽になりました。子どもの気持ちを尊重してくださる姿勢に、安心してお任せするこ
とができました。



保護者の声

※教育支援センターの利用手続きや諸費用、通所時間や開所時間につきましては、各市町の教育委員
会や各教育支援センターにご相談ください。右の二次元コードを読み取って、兵庫県教育委員会の
不登校支援施設の紹介ページから、お住いの各市町の施設を検索してください。





てっちゃんからのメッセージ



保護者様を迷わす一言を考える

兵庫県立但馬やまびこの郷所長 齊藤 誠 一

お子さんが不登校になったとき、周囲の方からいろいろなアドバイスを受けることがあります。なかには判断に迷ったり、疑問に思ったりすることも少なくないようです。今回は、この中から2つを取り上げて考えてみたいと思います。

「しばらく仕事を休んではどうでしょう？」



Aさんからの相談

子どもが学校へ行きづらくなると、仕事に出かけるまでのわずかな時間に家事を片付けながら、子どもの様子を見たり、起こしたり、登校を促したりするなど忙しく動いています。そうした思いをしても、子どもが学校に行かないとなるとちょっとがっかりしてしまいます。昼間も職場で子どものことを心配していると、同僚から「それほど気になるなら、仕事は一旦やめるか、休むかした方がいいんじゃない。」と言われたことがあり、これがアドバイスでもあり、ストレスでもあったりします。長く続けてきた仕事で自分に合っているのに、簡単に手放したくはないけれど、子どもが学校へ行く、行かないは別にしても、仕事をしばらく休んで、朝はバタバタせず、ゆったり子どもと向き合った方がいいのかどうか迷っています。

不登校のお子さんがある時に、外で仕事をする方がいいのか、悪いのかという極論になってしまいがちですが、どちらがいいかは簡単には言えないところです。よく考えてみますと、仕事をやめれば、お子さんといいかかわりができると考えることは少々早計ではないでしょうか。ポイントは「どうすれば保護者様がストレスをためずにお子さんに向き合えるかではないか」と思います。朝のバタバタや同僚の言葉がストレスならしばらく仕事を休むこともいいとは思いますが、もしここまで強い思いを持って続けてこられた仕事でしたら、休むことでかえってストレスがたまることもあります。ちょっと大げさかもしれませんが、その仕事が保護者様の人生にどのような意味を持つのかも考えてみてはいかがでしょうか。これまで続けてきた仕事を手放すことは、ご自分の存在価値(アイデンティティと言ってもいいかもしれません)を失うことにもなりかねません。

もちろん一旦仕事から離れることも1つの選択ではありますが、「仕事を休めば、あるいはやめれば〇〇」という図式ではなく、仕事を続けていきたい気持ちがあるのでしたら、一人でがんばるのではなく、どのようなサポートがあれば、仕事を続けながらお子さんと向き合っていけるのか、そのサポートは、例えば他の家族メンバーから得られないのかなどお考えになってはいかがでしょうか。



「しばらく好きなことをさせてあげてください」



Bさんからの相談

突然学校に行かなくなり、朝学校へ行くように言えば、大声で反抗し、口も聞かなくなってしまうので、「しばらくは何も言わずに、好きなことをさせてはいかがでしょうか。」というSCのアドバイスに従うことにしました。そうすると、確かに混乱することは減り、1日を穏やかに過ごせるようになり、気持ちがだいぶ安定してきました。ただ、好きな時間に起きて、好きな時間に寝て、好きなゲームばかりをしている様子を見ていると、嫌なことを避けて、好きなことだけをしているのではないかという気持ちになってしまいます。本当にこれでいいのでしょうか。

確かにそう感じられても、不思議ではないと思います。学校へ行けなくなった当初は、お子さんが一番動揺しており、そのような時に無理に学校へ行くように促せば、ますます混乱することになるでしょうから、「好きなことをさせておく」ということはそう間違いではないと思います。学校へ行けないことばかりが心を占め、何も手につかなかったお子さんにとっては、学校のことはちょっと脇に置いておいて、好きなゲームをすることは気持ちを安定させる効果はあると思います。しかし、家の中で荒れることはなくなった後も、同じようにゲームばかりしていると、どうみても怠けているようにしか見えませんので、保護者様の相談のような気持ちが生じてきてもおかしくはありません。

他方、仮にゲーム三昧の日を送っていたとしても、本当にゲームをしたくてしているお子さんばかりでなく、ゲームをしていないと時間を持て余してしまうお子さんもいます。ただ、気持ちが安定してくることで、少しずつ「～したい」という主体的な気持ちが生まれてくることも少なくないようです。例えば、「友だちに会いたい。でも教室には入れそうもない」「学校へは行けないけど、家の外で何かしてみたい」といった気持ちをもつようになるかもしれません。そのようなお子さんの気持ちに変化が見えたら、お子さんの思いを実現できそうな居場所、例えば校内サポートルーム、教育支援センター、やまびこの郷、フリースクールなどをご一緒に考えてみてはいかがでしょうか。とはいえ、先回りはせず、お子さんの気持ちを第一にお考え下さい。

もうひとつ知っておきたいことは、「好きなことばかりさせておく」ことに対して、他者からあんなことをしているからダメなんだという低い評価を受けるのではないかという不安です。人間はいい評価を得たいという特徴を持っていますので、低い評価は保護者としての自尊心を傷つけられることにもなります。本当は、今は好きなことをさせておくのがいいとは思っていても、他者の目が気になってしまっているのかもしれません。これは誰でもそうになってしまいがちですので、こんな見方をしていないか、時々振り返るだけでも意味はあると思います。

いろいろな意味の難しさはあるかもしれませんが、お子さんにいつか小さくても変化が起きることを信じてみませんか。



今回は、保護者様が迷われることを2つ取り上げましたが、他にも同じようなものはあるかと思うので、その表面的な意味だけに惑わされずに、それが保護者様やお子さんにどのような意味を持つのか、いろいろな点から考えてみることも必要かもしれません。

やまびこ親の会

8月9(土)～10日(日)に「やまびこ親の会」を開催しました。多くの保護者の方が参加され、情報交換などをして、交流を深めました。



「仲良くなってみんなで楽しもう」(アイスブレイク)



「自分で選び、作って楽しもう」
(製作活動)



「てっちゃんと一緒に考えよう」
(所長講話)



「みんなで語ろう」(保護者交流会)



★やまびこ親の会の感想★

- ・先行きが不安な気持ちでいましたが、中学校を卒業されたお子さんの保護者の話を聞いて、前向きな気持ちになりました。
- ・参加されている保護者の方々の話を聞くことで、自分の子どもとかかわるときの心の支えになりました。中学校を卒業した後のお話も聞くことができ、有意義な時間になりました。
- ・自分と同じ境遇の保護者の方々に会うことができなかったのも、いろいろなお話ができて、安心することができました。



地域やまびこ教室

当所をまだご利用になっていないお子様はもちろん、保護者の方のみの参加も大歓迎です！みなさんの参加をお待ちしています！



昨年度の火起こし体験の様子



第5回 県立考古博物館(播磨町)

【と き】 11月6日(木)
【内 容】 火起こし体験
保護者交流会



※詳細はHPをご覧ください。第1回～第4回「地域やまびこ教室」は受付終了しました。



兵庫県立但馬やまびこの郷保護者向け機関紙「やまびこ」No.51 ●令和7年9月

●兵庫県立但馬やまびこの郷 ●〒669-5135 兵庫県朝来市山東町森字向山 3045-101
●TEL(079)676-4724 ●FAX(079)676-4721

07 教②2-018A4